

ナモグリバエ天敵寄生蜂の種類と優占種

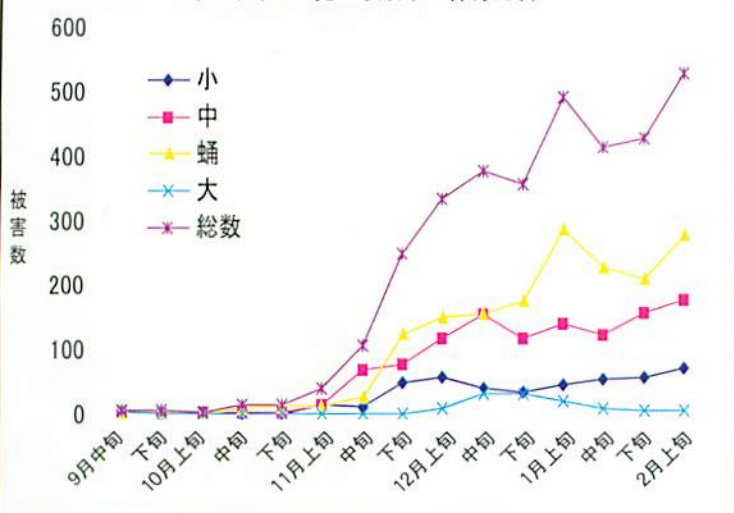
三浦半島地区事務所

三浦半島の主力農産物であるダイコン及びキャベツ等に被害を与えているナモグリバエの生態については不明な部分が多く、その天敵である寄生蜂の種類と優占種も不明でした。そこで、ダイコン栽培期間中のナモグリバエの発生状況及び天敵寄生蜂の種類と優占種を調査しました。

ナモグリバエの発生は、9月上旬から見られ、被害が増加するのは、11月上旬以降で3月末まで増加しました。

天敵寄生蜂の発生は、12月上旬～1月中旬にピークが見られ、天敵寄生蜂の優占種は、11月～2月まで、*D. sasakawai* (コマユバチの一種) でしたが、2月中旬以降は *D. isaea* (イサエアヒメコバチ) に替わることが解かりました。

ナモグリバエ発生状況(20株あたり)

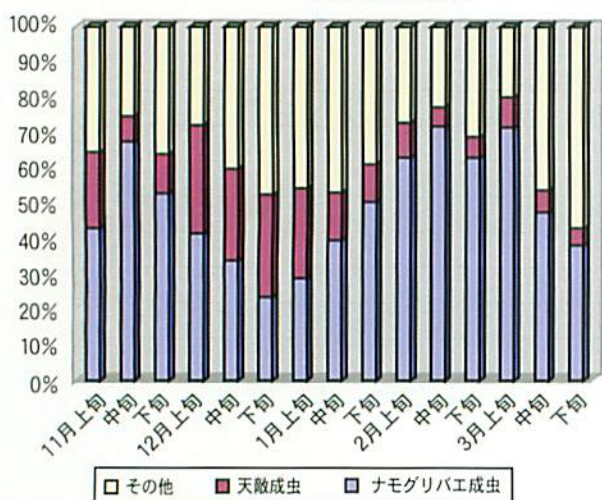


天敵寄生蜂 (*D. sasakawai*)



ナモグリバエによるダイコン葉被害

図1 ナモグリバエ蛹より羽化したナモグリバエ成虫と天敵寄生蜂の割合



ナモグリバエ蛹より羽化した時期別天敵寄生蜂割合

